

中国支部(広島)との意見交換会

日時 ⇒ 2016年11月12日(土) 13:30~16:30
会場 ⇒ 広島市消費生活センター
参加者 ⇒ NACS 中国支部 : 6名
石油連盟 : 1名 (中田氏)
環境委員会 : 5名



広島の参加者は、2014年に発生した大雨による洪水で、多数の死傷者を出した経験により災害に対する理解は深まっていたが、元来、地震や台風の被害がなく、温暖な気候のため、今後の備えの必要性を確認する機会となった。特に、東日本大震災発生後6年を迎えており、被害の現状や被災後の生活における必要な工夫や知恵など、過去の知恵や経験等情報が浸透していない状況も確認できた。

石油においては、水島工業地帯が近辺にあり、意見交換の参加者も広島市内など、交通の便の良い地域に居住していることで、石油やガソリンが不足するなどの経験が無いので、ひっ迫性は感じられなかった。

今回の意見交換を期に、さらに防災意識の向上と醸成を高めるとともに、防災対策としての石油についても考える機会や、自治体・事業者などと連携した防災活動や情報交換などの必要性が改めて認識できた。